



# 地域バイオ資源を活用した特産品開発と普及

生命環境学部 生命科学科  
教授 黒木 英二 (くろき えいじ)

連絡先 県立広島大学 庄原キャンパス 2601号室  
Tel0824-74-1760 Fax 0824-74-0191  
E-mail kuroki@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： フードビジネス学，マーケティング論，商品開発論，農業経済学

キーワード： 消費者ニーズ，地域ブランド，マーケティング戦略，

## ● 現在の教育研究

### 1. 地域資源を活用したコミュニティ・ビジネスの研究

広島県北部をはじめ多くの地域では限界集落といわれる高齢者が居住する農業集落が多い。このような地域は市場から遠隔地に位置する条件不利地域であり，多くの資金や労働力を投入したビッグビジネス型の推進は困難である。そのため，集落や個人，グループ，集落を基盤にしたコミュニティ・ビジネス型の推進が現実的であり，それに適したビジネスモデルの研究を行っている。

### 2. 地域資源を活用した商品開発の教育

中山間地域といわれる県北部は優れた資源に恵まれている。しかしそれらを活用した商品開発を科学的な方法で推進する蓄積が欠しかったため，安定した評価を持続的に受けることが困難であった。そのことを踏まえて資源の設計，コンセプトづくり，実験計画法に基づき，現行商品の改良案を提出させる実践型の教育を行っている。

### 3. 地域資源活用商品の評価に関する研究

厳しい条件に置かれながらも，創意工夫に基づいた特産品が開発されているが，その評価が高まりブランド化までには至っていない。ブランド推進の前提として消費者の評価が客観的に得られる必要がある。そこで学部教育では独立性の検定，分散分析，CS など統計手法に基づいた評価法を習得させている。

研究においては三原市の特産品であるタコ製品の評価を三原市との協働プロジェクトを通じ

て行った。

## ● 今後の目標・抱負

### 地域ブランド確立の研究

地域ブランド推進のための最新の理論的実証的研究を進め，地域独自のブランド価値を有する特産品開発に貢献したい。特に資金などの経営資源に乏しい広島県の島嶼部，北部中山間地域にとっては解決を急ぐべき研究としてとりくみたい。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

1. コミュニティ・ビジネスおよび6次産業を通じた地域ブランド推進
2. 高齢者，障害者を重視した農業及びビジネス活性

## ● これまでの連携事例・実績

- 庄原市 起業支援助成事業審査  
平成20年度から今日に至る
- 庄原市 山内ブランド米（里山の夢）の開発普及  
平成23年度から今日に至る
- 三原市 タコ製品の有効成分解明と販売普及  
（平成23年度協働プロジェクト事業）
- 三原市 広島空港における資源活用，施設機能，アクセスに関する三原市民意向調査  
（平成24年度協働プロジェクト事業）
- 呉市 安芸灘とびしま地域ブランドの開発普及  
（県立大学重点研究 平成22，24年度）
- 三次市 南部食ブランド協議会における食ブランド推進事業  
（平成23年度，24年）
- 広島銀行 コミュニティ・ビジネス，6次産業人材育成講座  
（平成22，23年度）